

げんき通信

ジェネリック医薬品のお話

最近、ジェネリック医薬品という言葉を目にすることが増えてきました。健康保険の機関からジェネリックへの変更を推奨する文書やカード・シールなどが届いた方も多いと思いますが、今ひとつよくわからない、という声も少なくありません。

◆ジェネリックはなぜ安い??

医療用医薬品には、先発医薬品と後発医薬品(ジェネリック)があります。先発医薬品メーカーでは、長い年月(15~20年)と巨額の費用(1000億円とも言われます)を使って新薬(先発医薬品)を開発します。そのため、発売後一定の期間(約10年程度)はさまざまな特許により保護され、他メーカーは同じ成分の医薬品を製造販売することはできません。しかし、特許期間が過ぎると、他社でも製造販売ができるようになりますので、複数のジェネリックメーカーから発売されます。このような、特許切れの先発医薬品と同じ主成分を含む医薬品をジェネリックと呼びます。

先発医薬品…

後発医薬品がジェネリック…



ジェネリックは、ジェネリックという言葉を耳にするだけでではなく、すでに世に出ている成分なので、宣伝活動などの費用も削減することができ、その結果、低価格での販売が可能になります。

◆ジェネリックと

先発医薬品は同じもの??

主となる成分はジェネリックも先発品も同じです。ただし、製造方法および主成分以外については、メーカーによって一部異なることがあり、薬の効果やアレルギー反応に違いが出ることも皆無とは言いきれません。特に、貼り薬や塗り薬などは「使用感や皮膚への刺激」などに関して不都合が出る場合がまれにあります。また、製造しているメーカーの技術力や生産能力(安定供給に差がある場合もあります。ただし、現在ではほとんどのジェネリックが問題なく使用されています。価格(薬価)は国が定める公定

ジェネリックのメーカーも多数ありますので、詳しくは薬剤師にご相談ください。



<中町店/薬剤師/むらおか>

価格で、先発品の何割という設定になるので、支払時の差額は薬により大きく違ってきます。

◆ジェネリックをきりかえよう??

平成24年4月の保険制度改定以降、ジェネリックの使用促進のために、一般名(薬の成分名)による処方が増えていきます。表記が変わったために、自分の薬が今までと違うものではないかと混乱された事例もかなりありました。一般名記載の処方せんの場合には患者さんが先発品かジェネリックかを選ぶことができます。また、商品名で書かれた処方せんであっても、ジェネリック希望である旨を医師または薬剤師に告げれば、多くの場合変更が可能です。ただし、処方医の判断・方針で先発品が指定されている場合や、ジェネリックが存在しない薬の場合には変更できません。ジェネリックのメーカーも多数ありますので、詳しくは薬剤師にご相談ください。

C O L U M N

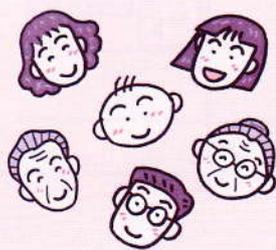
げんきコラム

薬の整理をしましょう!



このところ、TVや新聞で患者さんたちがのみ残した薬が家庭に大量に残っているという話題を取り上げています。医療費節約の観点からということもありますが、その他に自己判断で以前もらった薬をのんだり、使用期限の切れた古い薬や本人のものではない薬をのんでしまうというトラブルを避ける意味もあります。残った薬を確認して、無駄や危険のないよう対処するのは薬剤師の仕事です。どうぞご相談ください。

処方せんはぜんぶ「くほ薬局」におまかせください



すべての病院・医院の処方せんを受けつけ責任を持って調剤いたします。

ご家族みなさんのかかりつけ薬局としてご利用ください

あなたのまちのくすり箱

くほ薬局

- 県庁通り店 ☎23-4550
- 中町店 ☎26-2817
- 木原店 ☎24-2233
- 中の小路店 ☎24-2882
- 西与賀店 ☎22-2311
- 医大通り店 ☎32-1133
- 北茂安店 ☎0942-89-1777